

研究課題名	急性胆嚢炎に対する胆嚢ドレナージ症例の検討～ERGBD と PTGBD の比較～
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 消化器外科
研究責任者(職名)	牟田 裕貴 (消化器外科医師)
研究期間	承認日 ～ 2026 年 4 月 30 日
研究目的と意義	急性胆嚢炎に対し術前に行う胆嚢ドレナージ (経皮経肝胆嚢ドレナージ ; PTGBD、内視鏡的逆行性胆嚢ドレナージ ; ERGBD) の治療成績を明らかにし、各ドレナージの特性を理解することを目的としています。研究成果は、将来のよりの確なドレナージ選択と適切な待機手術につながることを期待できます。
研究内容	●対象となる患者さん
	2019 年 1 月から 2024 年 6 月の期間で当院で胆嚢ドレナージ後に待機的胆嚢摘出術を施行した患者さんです。
	●利用する情報
	・患者背景 : 病名、病歴、年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、胆嚢炎重症度 ・血液検査 : AST、ALT、血小板、白血球数、アルブミン、LDL、HDL、TG、CRP、γGTP、BUN、Cre、Hb、T.Bil、D.Bil、HbA1c ・画像検査 : CT、Magnetic Resonance cholangiopancreatography (MRCP) ・術前治療 : ドレナージの方法、抗菌薬、術前治療後の経過、手術までの待機期間 ・術中所見 : 手術時間、出血量、ドレーンの有無 ・細菌培養結果 ・合併症の有無
	●研究方法
	上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。 ・主要評価項目 : ドレナージ後の合併症 ・副次評価項目 : 各ドレナージ後の入院期間、待機期間、血液検査データの推移、待機手術時間、術後感染症発生率
問い合わせ先	所属 : 長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所 : 長崎市新地町 6 番 3 9 号 電話 : 095 (822) 3251 (内線 3553) 受付時間 : 月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)